平成21年3月

ローカルマニフェストの取り組み状況について

このローカルマニフェストは、鳥取市のまちづくりの指針となる「第8次鳥取市総合計画」に掲げた施策のうち、優先的、重点的に取り組むものを明かにしたものです。社会経済情勢の変化や、これまでの取組み成果などをふまえつつ、見直しを行い、目標達成に向けて、市民のみなさんと力を合わせ各種施策に着実に取り組んでいます。

マニフェスト1 高速道路を活かした地域経済の活性化と雇用の創出

（目標） 高速道路開通をにらんで市場開拓・販路拡大に取り組み、農林水産業・製造業等の振興と雇用拡大を図ります。企業誘致を4年間で16社以上を目指します。

（施策）（1）「鳥取市経済活性化戦略」に基づき、農林水産物等特産品の鳥取ブランド化・高付加価値化を進め、また、産学官連携を強化して、製造業などで新製品の開発と新分野への進出を目指します。

（2）関西圏での物産展等のイベント参加、アンテナショップの活用などにより、市場開拓・販路拡大の取り組みを強化し、鳥取自動車道のインターチェンジ周辺において、工業団地の整備などを進め、地域の活性化を図ります。

（3）地場産業振興・企業誘致等により平成21年度までの4年間で1,500人以上の雇用創出を図ります。

＜平成18年度の取り組み状況＞

○誘致件数　6件

※市外の企業が本市に立地した場合または市内の企業が本市（公社等を含む）の造成した工業団地に新設・増設（移設は除く）しました

誘致年月日（進出協定調印日又は創業日）	誘致した企業名	従業者数の計画（雇用の増）	備　考
H18 年 4 月 25 日	㈱ブライトン	80 人	産業機器関連ケーブル製造・販売(新津ノ井工業団地)
H18 年 7 月 7 日	エムアンドシーシステム㈱	15 人	生産管理システム開発、3Dデジタルコンテンツ作成（県産業振興機構内）
H18 年 10 月 26 日	日本セラミック㈱	90 人	セラミックセンサー開発・製造・販売(新津ノ井工業団地)
H18 年 11 月 20 日	㈱ＡＲＡＩメタリックス	2 人	プレス・板金・溶接(新津ノ井工業団地)
H19 年 2 月 1 日	ダイキン工業㈱グローバル研修所	40 人（間接雇用含む）	社員研修施設（ダイキンアレス青谷）（青谷町井手）
H19 年 2 月 22 日	シンフォニーエレクトロニクス㈱	20 人	家電や歩行・介護ロボットの電源部分に用いる高性能電子部品等の開発・販売（県産業技術センター内）
計	6件	207 人	

○増設件数　７件
※誘致案件以外で、既存の市内企業が鳥取市企業立地促進補助金、又は鳥取市情報通信関連企業立地促進補助金の指定を受けて増設事業を行った場合

補助金指定日	企業名	従業者数の計画（雇用の増）	備　　考
H18 年 8 月 2 日	鳥取電子㈱	5 人	バックライトの組み立て
H18 年 10 月 4 日	㈱千代ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	10 人	ロボット製造業
H18 年 10 月 12 日	気高電機㈱	13 人	家電の OEM 生産、精密機器、自動車部品分野への拡大
H18 年 11 月 2 日	アイエム電子㈱	10 人	バックライトの生産
H19 年 3 月 29 日	ダイヘン産業機器㈱	20 人	高周波電源や太陽光インバーター装置の製造
H19 年 4 月 25 日	㈱清水	5 人	鋼材卸売と一次・二次加工、鋼材加工
H19 年 4 月 5 日	㈱ササヤマ	10 人	薄型テレビの筐体などの金型製造
計	7 件	73 人	

○　新商品開発､販路開拓支援事業　　３社支援
○　新技術研究開発事業（産学官連携）　３社支援
○　新規創業・開業支援事業　　３社支援
○　ジャスコ鳥取北ショッピングセンター増床に伴う地元雇用・店舗出店に関する協定書の締結（平成 18 年 8 月締結）
○　鳥取地域ブランド農産物登録制の創設
○　果樹・野菜生産振興事業　３７戸（新改植、ビニールハウス）

＜平成１９年度の主な取り組み状況＞

○　誘致件数　６件

誘致年月日（進出協定調印日又は創業日）	誘致した企業名	従業者数の計画（雇用の増）	備　　考
H19 年 5 月 29 日	㈱テクニカ	15 人	耐熱塗装、セラミック塗装
H19 年 6 月 27 日	ジリオン・ネットワークス㈱	15 人	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ周辺機器の設計、開発、製造、販売
H19 年 10 月 5 日	㈱エービーエル	10 人	生体認証を用いたセキュリティ製品の企画・開発
H19 年 11 月 20 日	㈱ＬＡＳＳＩＣ	15 人	システム構想設計・開発
H19 年 12 月 25 日	日本セラミック㈱（日セラ先進技術開発研究所）	10 人	MEMS 技術を応用した新しいセンサの研究開発
H20 年 2 月 26 日	㈱鳥取メカシステム（生産システム研究所）	15 人	高精度自動化生産システムの設計製作、精密機械部品の製作、ＰＣソフトウエア設計・開発等
計	6 件	80 人	

○増設件数　１件

補助金指定日	企業名	従業者数の計画（雇用の増）	備　　考
H20 年 5 月 13 日	アロー産業㈱	5 人	高放熱型ＬＥＤ基盤および有機ＥＬ面発光体の研究開発
計	1 件	5 人	

○　新商品開発、販路開拓支援事業　　４社支援
○　新技術研究開発事業（産学官連携）４社支援
○　新規創業・開業支援事業　　３社支援
○　販路拡大等創出促進事業（商工会議所や各商工会が関西圏の経済界及び企業の経済交流を図り地元企業の販路拡大に向けた取り組みを行う場合の経費を一部補助）
○　アンテナショップ開設に向けた取り組み
○　ジャスコ鳥取北ショッピングセンター増床による雇用の拡大、地元店舗の出店（平成 19 年 10 月完成）
○　鳥取市大阪事務所（平成 20 年 4 月から鳥取市関西事務所に改称）の充実（平成 19 年度から職員 2 名体制、関西圏・中部圏を中心とする企業誘致活動、アンテナショップへの取り組み、観光ＰＲ等を強化）
○　地域経済戦略室の設置（平成 19 年 6 月）し、鳥取市経済活性化戦略の策定（平成 20 年 1 月）
○　農産物加工施設の開設（ＪＡ鳥取いなば農産物加工センター〔通称:野菜畑のシンデレラ〕）（平成 19 年 5 月開業）農家女性４５人の利用組合で運営開始

＜平成２０年度の主な取り組み＞

○　誘致件数　３件

誘致年月日（進出協定調印日又は創業日）	誘致した企業名	従業者数の計画（雇用の増）	備　　考
H21 年 1 月 26 日	マルチ㈱鳥取オフィス	10 人	電子機器開発、回路設計、ソフト設計、プリント基板の設計・製作
H21 年 2 月 12 日	アイシーコム㈱鳥取事業所	50 人	WEB サイト企画製作運用、EC サイト企画製作運用、システム開発、農業事業
H21 年 2 月 28 日	㈱ＩＴＴＲ	200 人	システムの受託開発、ＩＴコンサルティング、インド式ＩＴ研修
計	3 件	260 人	

○　増設件数　１０件

補助金指定日（協定調印日）	企業名	従業者数の計画（雇用の増）	備　　考
H20 年 5 月 1 日	勝栄産業㈱	7 人	産業可変速機生産工場の増設
H20 年 6 月 17 日	大鳥機工㈱	7 人	金属加工機械及び半導体製造装置の生産工場増設
H20 年 6 月 18 日	今石電機製作所	21 人	車輌部品の製造、加工、組立工場の増設
H20 年 7 月 11 日	サンライズ工業㈱	5 人	チタンコーティング製品の製造設備の導入
H20 年 7 月 14 日	㈱正光	15 人	鉄骨加工工場の増設

補助金指定日（協定調印日）	企業名	従業者数の計画（雇用の増）	備　　考
H20年7月22日	大同端子製造㈱	9人	圧着端子、圧着スリーブ製造工場の増設
H20年8月28日	㈱鳥取ﾒｶｼｽﾃﾑ	6人	組立工場、加工室の増設、大型工作機械の導入
H20年10月1日	ｴﾌﾟｿﾝｲﾒｰｼﾞﾝｸﾞﾃﾞﾊﾞｲｽ㈱	70人	液晶パネル研究開発部門及び製造工場の増設
H20年12月16日	日本セラミック㈱	5人	超音波センサの製造
H21年1月23日	㈱コクヨMVP	115人	事務用・学用紙製品製造
計	10件	260人	

○ 新商品開発、販路開拓支援事業　　４社支援予定
○ 新規創業・開業支援事業　　３社支援予定
○ 「鳥取大学工学部附属電子ディスプレイ研究センター」設置への支援（産学官が協力し液晶人材育成施設を設置、平成20年8月協定）
○ 鳥取市経済活性化戦略に基づく各種事業の推進

＜アンテナショップ：岩山海＞

【新たな取り組み】

◆ 関西でのアンテナショップ事業（平成２０年４月２６日に「とっとり・いなば協力店（２２店舗）」を大阪市、神戸市等に開設。（平成２０年１２月末日現在：２７店舗開設）
◆ 物産振興体制強化事業（物産振興を行う体制整備（観光協会）・鳥取市ふるさと物産館の設置）
◆ 鳥取市トライアル発注事業（中小企業や大学発ベンチャーによる新商品開発における販路開拓への支援として活用可能な商品を購入）
◆ 産学官連携地域経済活性化補助金（新技術研究開発、農商工連携、産学官連携企業化支援）7 社支援予定
◆ 地域経済戦略推進事業（地域経済活性化フォーラム、コミュニティビジネス育成事業、販路開拓支援事業などを開催）
◆ 雇用創造推進事業（求職者等の人材育成事業を経済団体等と構成する協議会で実施）
◆ 雇用対策事務委託事業（協議会を設置し、高校・大学生を対象に企業見学会などを開催）
◆ 鳥取自動車道関連事業（河原・用瀬バスストップ整備）

＜平成21年度に新たに取り組む予定のもの＞

☆ 緊急雇用創出事業（離職者の次の就業支援対策として、短期の事務補助員としての直接雇用など（延べ雇用創出人数270人））
☆ ふるさと雇用再生特別交付金事業（本市の発展に寄与する事業を臨時的に民間委託することにより、中期の雇用を創出し、失業対策に資する（延べ雇用創出数348人））
☆ 緑の雇用対策緊急支援事業（林業研修を受けている新規林業就業者に対し、滞在経費（家賃）の一部を助成（対象予定者数　５人、補助率　市１／２対象者１／２）
☆ 食品加工産業育成事業（市内食品加工産業の新商品開発等を支援し、育成を図る）
☆ 水産物流通対策チャレンジ支援事業（多様な水産物の流通及び付加価値向上のための活動に取組む漁業者等に対してその経費の一部を助成（県１／２、市１／４、事業者１／４（県補助は直接補助）
☆ 小規模作業所（福祉の店（市内２か所））に外販担当職員を各１名配置し、販路拡大、受注量の増加を図る。

マニフェスト2 観光資源の魅力アップにより観光客の大幅増加

（目標） 平成２１年度の「鳥取･因幡の祭典」を成功させ、観光産業を本市の基幹産業として確立することを目指します。平成２１年度の観光客数２７０万人以上を実現します。

（施策）（1）鳥取自動車道（鳥取県側）の開通と市制１２０周年を記念して、平成２１年度に官民協働･市民総参加で「2009 鳥取･因幡の祭典」を盛大に実施します。

（2）鳥取市を広く知っていただくために、多様なメディアを活用した新たなイメージアップ作戦を展開するなど、効果的な情報発信を行います。

（3）近隣都市や姉妹都市などとの広域的な連携を強化し、滞在型･通年型観光に重点を置いて取り組みます。さらに、因幡国際観光推進協議会など関係団体と協調して東アジアからの観光客を増やします。

※観光客数の基準：平成 16 年度 220 万人を基準に平成 21 年度に 50 万人増を目指す。

＜平成１８年度の取り組み状況＞

○ 平成１８年度観光客入込客数（鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺）　　２２６万人

○ 道の駅〔神話の里白うさぎ、清流茶屋かわはら〕（平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月両施設約２０５万人）

○ 「２００９鳥取・因幡の祭典」ゆっくり　ゆったり　とっとり体験　～砂丘と食と温泉と～基本検討委員会・実行委員会を設立、基本構想・計画の策定、キャッチフレーズなどの決定

（観光入込客数 100 万人以上増加を目指す。「鳥取県東部広域圏 2005 年 275 万人→2009 年 375 万人」）

○ 砂の美術館：砂像の展示実施（平成 18 年 11 年 18 日～平成 19 年 1 年 3 日　来場者 110,962 人）

○ 「姫路・岡山・鳥取三都城下町物語推進協議会」（愛称：HOT トライアングル）の設置、協定書調印式（平成 19 年 2 月）江戸時代の池田家の国替え等、歴史的に深い縁で結ばれている三都市の連携交流事業を展開

○ 鳥取砂丘地内未利用地活用事業提案募集（平成 18 年 10 年 24 日～平成 19 年 3 年 31 日応募状況：１件）

○ 「ガイナーレ鳥取」支援への取り組み（市役所応援団の結成、市役所ロビー2 ヶ所に応援コーナー設置）

＜ガイナーレ鳥取報告会＞

＜平成１９年度の主な取り組み状況＞

○ 平成１９年度観光客入込客数（鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺）　　２１４万人

○ 「2009 鳥取・因幡の祭典実行委員会」等の開催、情報発信などの広報活動

○ 砂の美術館　砂像の展示実施（4 月 1 日～6 月 30 日）、周辺整備

○ 鳥取砂丘未利用地活用事業　　提案募集に基づいて、鳥取砂丘西側の旧砂丘荘、旧青年家跡地を整備

○ HOT トライアングルの取り組み（設立記念行事〔8 月 18 日：岡山市〕、各市イベント等への市民相互参加の促進、ホームページ等による三市の一体的な情報発信）

○ 鳥取砂丘室の設置（砂丘を活かした観光振興、砂丘の景観保全などに取り組む、平成 20 年 1 年 1 日）

○ 山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟を目指し、山陰海岸ジオパーク推進協議会を設立

＜平成２０年度の主な取り組み＞

○ 「2009 鳥取・因幡の祭典実行委員会」等の開催、情報発信などの広報活動

○ 砂の美術館　第２期展示～世界遺産・アジア編～　砂像の展示実施　（平成 20 年 4 月 26 日～平成 21 年１月３日）（目標の３０万人をこえ、３２万２，１９７人　来場）

○ HOT トライアングルの取り組み（交流行事〔４月２７日:姫路市〕、各市イベント等への市民相互参加の促進〔１０月５日:岡山市朝市参加〕、ホームページ等による三市の一体的な情報発信）

○ 山陰海岸ジオパークフォーラムの開催。世界ジオパークネットワーク申請にかかる国内候補地域に応募→落選（平成２０年１０月２０日）し、日本ジオパークに認定（平成２０年１２月８日）された。

○ 鳥取砂丘観光入込客数の増加（平成１９年　１３８万４，８７３人　→平成２０年　１６４万２６６人　２５万５，３９３人の増）

＜アンコール・トム＞

【新たな取り組み】

◆ 観光サイン設置事業（市内の観光案内看板を改修及び外国語対応看板の整備）

◆ 国際観光推進事業（京畿国際観光博覧会での観光客誘致に向けた活動〔平成２０年１１月１３日～１６日：韓国〕）

◆ クブチ砂漠植林サミット支援事業（中国内モンゴル自治区オルドス市で開催される２００８クブチ砂漠植林サミットに訪問団を派遣　[平成２０年５月１８日～１９日]）

◆ 鳥取市知名度アップ大作戦（関西圏での鳥取市の知名度を高めるため、各メディアによる集中的なＰＲや OSAKA 光のルネッサンス（平成２０年１２月１３日～２５日開催）での砂像の展示を実施）

＜平成２１年度に新たに取り組む予定のもの＞

☆ 中国横断自動車道姫路鳥取線鳥取ＩＣ開通記念事業の実施

☆ 世界砂像フェスティバルの開催（平成２１年４月１８日～５月３１日）

☆ 観光情報発信ツール整備事業（「２００９鳥取・因幡の祭典」を通して、本市観光の現状分析と国内外に向けて有効な情報発信を図るためのＰＲ映像やパンフレット等の整備）

☆ 「2009 鳥取・因幡の祭典」により構築された広域観光連携を継続するため、「因幡・但馬の観光協会によるネットワーク」の確立（鳥取市観光協会へ委託）

＜駅前砂像＞

＜OSAKA 光のルネッサンス　砂像展示＞

マニフェスト3 安心でにぎわいのある市民生活の実現

(目標) 保育所待機児童ゼロ、若者定住をはじめ、福祉・教育・健康・医療の施策を充実させ、平成21年10月の鳥取市人口20万人以上を目指します。防災行政無線の整備や自主防災会の体制強化などによる安全安心のまちづくり、交流人口の増加によるにぎわいのあるまちづくりを進めます。

(施策) (1) 総合的な子育て支援体制の強化により待機児童ゼロの継続、教育特区を活用した小中一貫校開設などの教育環境充実をはじめとする次世代育成施策を着実に進めます。本市の「新元気プラン」「介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」「障がい者計画」などに基づく福祉・保健・医療の充実を図ります。

(2) 市全域にわたる防災行政無線の整備を進め、自主防災会の体制強化を図り、安全で安心なまちづくりを進めます。

(3) 「鳥取市中心市街地活性化基本計画」による魅力のあるまちづくりを推進するとともに、各総合支所ごとに「地域振興プラン」を策定し、中山間地域の振興を図ります。

(4) グリーンツーリズムの拡充や新しいタイプの市民農園の実現などによる交流人口の増加や、就農定住などによるU・J・Iターン者の積極的な受け入れを進めます。

＜平成18年度の取り組み状況＞

○ 鳥取市人口増加対策本部の設置（平成18年5月設置）し、「人口が増加していく住みよいまちづくりの取組み方針」を策定

○ 定住促進「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」、専用フリーダイヤルを設置（平成18年9月）UJIターン希望者に対する専任相談員の配置　（平成18年12月）（平成19年3月31日現在：定住者５世帯７人）

○ 中心市街地の活性化　（住宅市街地総合整備事業計画・都市再生整備計画策定への取り組み）

○ 暮らし・にぎわい再生事業（鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル新築事業賑わい交流施設整備設計費補助）

○ とっとりふるさと就農舎（農業ビジネススクール）の開設準備

○ 鳥取環境大学入学者増をめざしたＰＲ（とっとり市報）

○ 保育所待機児童数　ゼロを維持する（平成18年度当初以降継続）

＜就農舎相談＞

○ 子育て支援ホームページ開設　（平成19年1月）

○ 0・1・2・3子育て広場を文化センターへ移転拡充（平成18年10月）

○ 「保育事業充実特区」の認定による保育所臨時保育士の任用期間延長（平成19年3月30日）

○ 市立病院にPET/CTを導入　（平成19年2月導入、稼動）

○ 自動体外式除細動器（ＡＥＤ）を１２箇所に設置（平成18年8月）

○ 「しゃんしゃん体操」の作成と普及活動の開始

＜平成19年度の主な取り組み状況＞

○ 鳥取市人口増加対策本部（平成20年2月末までに延べ１２回開催）

○ 定住促進・Uターン相談支援窓口の充実、UJIターン希望者への情報提供・県外情報発信、HP・情報誌によるPR（平成20年3月31日現在：定住者32世帯71人）

○ 湖南小中一貫教育特区の認定（平成20年4月スタート）

○ 鳥取市中心市街地活性化基本計画の策定、内閣総理大臣の認定（平成19年11月）
○ 暮らし・にぎわい再生事業（鳥取産業会館・鳥取商工会議所ビル新築事業賑わい交流施設整備設計費補助）
○ 空き家見学ツアーの実施、お試し定住体験事業（佐治町の空住宅で体験）
○ ＵＪＩターン住宅支援事業補助金（UJIターン希望者の住宅改修費助成、上限100万円）（申請者数20件　定住者数53名）、ＵＪＩターン者受入自治会等支援事業（受入自治会、空き家提供者へ各３万円を交付）
○ 施設整備型市民農園整備推進事業（吉岡温泉町地内100区画、平成20年4月開設）
○ とっとりふるさと就農舎（農業ビジネススクール）の開校（平成19年4月開校）
○ 教育センターの設置（平成19年4月開設）
○ 放課後子ども教育推進事業（美保・美保南小学校で開設）
○ 第３子子育て応援事業（３子以上を有し、0～小学3年までの子を有する保護者を対象にファミリーサポートセンター利用の支援）
○ 子育て支援カード事業（３子以上の子を有する就学前までの子育てをしている保護者を対象として、協賛店舗者と連携し、子育て支援カードを提示することにより割引等の支援を行う）（平成19年6月1日サービス開始）（平成20年3月31日現在：申請状況925件、協賛店舗等598件）
○ 病後児保育施設整備（市立病院内に平成20年1月7日開設）
○ 鳥取市食育推進連絡会の発足
○ しゃんしゃん体操の普及、指導員107人誕生
○ 鳥取市地域自立支援協議会の設置（ネットワークづくりなどによる障がいのある人の社会参加促進）
○ 暮らし・にぎわい再生事業（鳥取商工会館ビル解体費補助）

＜平成２０年度の主な取り組み＞

○ 鳥取市人口増加対策本部の開催
○ 定住促進対策の充実（平成21年2月28日現在：定住者45世帯98人）
・専任相談員を１名増員配置（平成20年4月）（専任相談員総数　２名に）
・ＵＪＩターン希望者への情報提供、ＨＰ・情報誌の活用による県外への情報発信
○ 湖南小中一貫教育「湖南学園」がスタート（平成20年4月）
○ お試し定住体験事業（佐治町、鹿野町で実施）
○ ＵＪＩターン住宅支援事業補助金（平成21年1月31日現在申請者数28件　定住者数78名）
○ ＵＪＩターン者受入自治会等支援事業（受入自治会、空き家提供者へ各3万円）
○ 鳥取市グリーンツーリズム連絡会の活動（研修会、視察研修等）の支援
○ 放課後子ども教育推進事業（すべての子育て家庭を支援し、放課後対策も含め地域の子育て支援を充実するために新しい放課後子どもプラン事業を創設。2校をモデル校。）
○ 第３子子育て応援事業（３子以上を有し、0～小学3年までの子を有する保護者を対象にファミリーサポートセンター利用の支援）
○ 子育て支援カード事業（３子以上の子を有する就学前までの子育てをしている保護者を対象として、協賛店舗者と連携し、子育て支援カードを提示することにより割引等の支援を行う））（平成21年3月現在：申請状況1,095件、協賛店舗等931件）
○ 鳥取市地域自立支援協議会の開催（障がいのある人の社会参加に係るネットワークづくりなどを促進）

＜芝生化した園庭＞

【新たな取り組み】
◆ 保育園庭芝生化事業（ポット苗移植法「鳥取方式」による園庭芝生化モデル事業：２園で実施）
◆ （仮称）河原幼保園整備事業（幼稚園１園と保育園２園を統合。河原地域内に幼保一体施設整備）平成20年度：実施設計）

◆　次世代育成行動計画後期計画（平成22年度～26年度）の策定のためのニーズ調査を実施
◆　ＡＥＤ導入推進事業（使用頻度などを考慮し年次的に公共施設に導入）：平成20年度96台導入
◆　特定健診、特定保健指導の実施
◆　中央保健センター内に総合健診室を新設(特定健診、特定保健指導、各種がん検診を一体的に実施)
◆　新型インフルエンザ対策行動計画、対策マニュアルの策定
◆　新型インフルエンザ対策個人防護服の備蓄（N95マスク、手袋、ガウン、フェイスシールド、手指消毒剤）
◆　介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画（平成21年度～23年度）の策定
◆　障がい福祉計画の策定（第2期、平成21年度～23年度）と障がい者計画の見直し
◆　災害時要援護者支援制度モデル地区事業の実施（平成２０年度８地区）
◆　環境大学入学就職奨励金交付事業（本市在住者が環境大学に入学する場合及び卒業後市内に就職する場合に奨励金を交付）（平成20年度入学奨励金交付者数　61名、就職奨励金交付予定者数　35名）
◆　私立専修学校・専門学校就職奨励事業（市内の専修学校等を卒業し、市内企業に就職した場合に就職奨励金を交付）（平成20年度交付者数　39名）
◆　西町緑地等整備事業（中心市街地に多くの市民が集い、憩いのスペースの整備）
◆　中心市街地のにぎわい再生を目指して、鳥取駅前・賑わいのまちづくり実証事業を実施
◆　災害時要援護者に対する火災警報器の設置助成（低所得世帯を対象）

＜鳥取駅前・賑わいのまちづくり実証事業＞

＜平成２１年度に新たに取り組む予定のもの＞

☆　妊婦健康診査の公費助成回数を５回から１４回に拡充
☆　福祉のてびき作成事業（平成12年度から3年おきに改定）
☆　小学校英語活動人材支援事業（小学校での英語活動をより充実させるため、英語力のある地域の人材を活用した援助を行う。）
☆　保育園児童体力づくりモデル事業（専門機関の指導による幼児期の体力向上のための運動プログラムの実践：モデル園２園）
☆　西品治児童遊園整備事業（750㎡整備予定）
☆　駅前地区環境整備事業（新鳥取駅前商店街振興組合が実施するアーケード整備への助成）
☆　まちなか交通実証実験事業（中心市街地の歩行者等を増加し賑わいを創出する交通実証実験を行う）
☆　商店街整備助成事業（本通商店街再生事業、智頭街道商店街環境整備事業）
☆　地域振興プラン魅力創出事業（新市域の魅力を高める活動に対する支援）
☆　携帯電話不感地区等整備事業（国府町石井谷、神護地区に鉄塔を整備）
☆　「日本のまつり・２００９」開催支援（平成２１年１０月９日（前夜祭）～１１日開催予定）
☆　就農定住円滑化対策事業（認定就農者の円滑な就農定住と経営の早期安定を図る。平成２１年度３名支援予定）
☆　ため池等整備事業（老朽化等により早急な整備が望まれるため池２４箇所を年次的に整備）

マニフェスト4 地域コミュニティの充実と強化

（目標） 集落の人口減少や高齢化が進む厳しい状況の中で、市民生活を支える地域力の強化を図るため、地区公民館を生涯学習と地域コミュニティの拠点として位置づけ、体制の整備・充実を図り、「まちづくり協議会」の組織化などを支援します。

（施策）（1）総合的に地域コミュニティを支援し、自治会等への加入の促進や幅広い分野の地域活動を盛んにすることにより、地域の活力の向上を図ります。

（2）全市にわたり地区公民館の体制の整備・充実を図り、自治会活動や自主防災会活動をはじめ、福祉・健康の相談窓口の場の提供や行政情報の発信など、地区公民館のコミュニティ機能を充実します。

（3）平成２０年度を「協働のまちづくり元年」と位置づけ、自治会を中心とする地域の各種団体による「まちづくり協議会（仮称）」の組織化、地域コミュニティづくりや地域課題への取り組み等に対して積極的な支援を行います。

＜平成１８年度の取り組み状況＞

＜地域づくり懇談会＞

- ○ 文化センター内へ生涯学習センター・文化活動ひろばを移転拡充　（平成 18 年 9 月）
- ○ 合併地域活性化推進事業（８総合支所で計画策定・実施）
- ○ ケーブルテレビ網の全市域整備　（平成 18 年 8 月完了）
- ○ 地区公民館の整備（末恒地区公民館：平成 19 年 6 月 23 日竣工式）
- ○ 集会所新築等補助事業（新築 4 件、増改築 19 件）
- ○ 神護ふるさと村を整備（かやぶき交流館）（平成 19 年 3 月完成）
- ○ 防災行政無線の整備（鳥取地域・国府地域の実施計画の策定）
- ○ 学校安全推進事業の開始（地域住民の協力を得て「スクールガードボランティア」を設置し、学校内における子どもたちの安全確保を図る）
- ○ 地域・福祉活動コーディネーターの活動支援（４名）

＜平成１９年度の主な取り組み状況＞

- ○ 集会所新築等補助事業（新築 5 件、増改築 15 件）
- ○ 中山間地活性化交流施設整備等　５集落（自立支援交付金事業　倭文西、口細見、中井一、加瀬木、上野）
- ○ 防災行政無線の整備(鳥取地域・国府地域の整備着手：平成２２年度完成予定)
- ○ 自主防災組織の充実強化（平成 20 年度を目途に組織一本化）
- ○ 防災コーディネーターによる自主防災活動等に対する支援の実施
- ○ 地域振興策の実施（合併地域活性化推進事業等）
- ○ 地域・福祉活動コーディネーターの拡充（２地区→８地区）
- ○ 市内全域の自治会組織が一本化し、鳥取市自治連合会としてスタート（平成１９年６月）
- ○ 「地区公民館の活用策と今後のあり方（中間まとめ）」作成（生涯学習・地域コミュニティの拠点づくり、平成１９年１２月）
- ○ 国府町上地地区交流集会施設の整備

○　集落名表示板の設置（平成１９年度から３年間、平成１９年度は、南部地域）
○　地域・福祉活動コーディネーターの活動支援（８名）

＜平成２０年度の主な取り組み＞

○　集会所新築等補助事業（新築２件、増改築６件、賃借２件予定）
○　中山間地活性化交流施設整備等　４集落（自立支援交付金事業　加瀬木、口細見、中井一、上野）
○　防災行政無線の取り組み(鳥取地域・国府地域の整備：鳥取地域の２６地区で運用開始)
○　自主防災組織の充実強化（平成２０年度組織を一本化）
○　防災コーディネーターによる自主防災活動等に対する支援の実施
○　地域振興策の実施（合併地域活性化推進事業等）
○　地域・福祉活動コーディネーターの充実強化
○　集落名表示板の設置（平成２０年度は、西部地域）
○　地区公民館を生涯学習並びに地域コミュニティの拠点として活用を開始

【新たな取り組み】

◆　避難案内板整備（一時避難場所にある案内板の改修整備）
◆　地区防災マップ等作成への支援
◆　地域コミュニティ育成支援事業（市内各地域における「まちづくり協議会（仮称）」の組織化（４５地区設立予定）や、「地域コミュニティ計画」作成への支援）
◆　コミュニティ支援チームの支援活動（市職員６１地区２７７名で編成する「コミュニティ支援チーム」による地域コミュニティ活性化への支援）
◆　地区公民館の整備（岩倉地区公民館設計、青谷町就業改善センター）
◆　地区公民館に行政情報コーナー設置（平成２１年１月末完了）
◆　「協働のまちづくりミニ座談会」の開催（全３０地区で実施済。）

＜平成２１年度に新たに取り組む予定のもの＞

☆　地域コミュニティ育成支援事業の充実（協働のまちづくり助成事業、協働のまちづくり特別支援事業、女性コミュニティ活動推進助成事業）
☆　集落名表示板の設置（平成２１年度は、東部地域）

＜きらめくまちづくり事業：「無人島体験ツアー」＞

マニフェスト5 協働のまちづくりと市民サービスの向上

（目標） 本市のまちづくりの基本理念を「鳥取市自治基本条例」により明確にし、市民との協働によるまちづくりを強力に進めます。市役所の相談機能を一層充実させることにより、市民サービスの向上を図ります。

（施策）（1）「鳥取市自治基本条例」を制定し、条例の十分な活用により、市民が主役のまちづくりを推進します。

（2）「若者会議」からの提言をはじめ、市民各層の意見を活かし、市民の参画と協働のまちづくりを進めます。

（3）行政に関する相談や日常生活での困りごとに対応する「市民総合相談窓口」や「くらし110番」の相談窓口の体制を充実させ、相談機能の強化を図ります。

（4）市民サービスの向上と市役所全体の業務執行の効率化を図るため、窓口対応の継続的改善や本庁と総合支所の執行体制の整備を進めます。

＜平成18年度の取り組み状況＞

○ 「若者会議」の設置（平成１９年１月）（若者３０人と若手市職員６人）
○ 「鳥取市みんなでつくる住民自治基本条例検討委員会」の設置（平成１９年１月）
○ 鳥取市自治基本条例検討委員会の設置（平成１９年１月）
○ 「市民総合相談窓口」の設置（平成１９年１月） 平成２１年２月末までの受付状況 1，857件
○ 市管理職員による窓口案内業務（平成１８年１０月～）

＜平成19年度の主な取り組み状況＞

○ 「若者会議」グループ会議・全体会議、「若者議会」（平成２０年１月）の開催
○ 鳥取市自治基本条例の策定に向けた取り組み（平成２０年３月条例制定）
○ 「鳥取市快適な生活環境の確保に関する条例」の制定に向けた取り組み（平成２０年３月条例制定）
○ 「市長と気軽にトーク・トーク」の開催（平成１９年５月～平成２０年３月末 実施団体３８団体）
○ 総合支所のあり方検討会の開催

＜平成20年度の主な取り組み＞

○ 「若者会議」グループ会議・全体会議、「若者議会」開催
○ 「鳥取市自治基本条例（平成２０年１０月１日施行）」の周知・浸透（懸垂幕の作成、条例の開設・啓発パンフレットの作成など）
○ 「鳥取市自治基本条例」に基づく市民参画と、市民と行政による協働のまちづくりの推進（市民自治推進委員会の設置、フォーラムの開催など）
○ 「鳥取市快適な生活環境の確保に関する条例（平成２０年４月１日施行。一部平成２０年１０月１日施行）」周知・浸透
○ 「市長と気軽にトーク・トーク」の開催（平成20年4月～平成21年2月末 実施団体4団体）
○ 総合支所のあり方検討会の開催

＜若者会議＞

【新たな取り組み】

○ 過疎地有償運送者支援事業（公共交通空白地域等で有償運送サービスを行うNPO法人等に対し助成）
○ 「文化芸術振興条例」制定に向けた取り組み（平成２１年２月条例制定）

＜平成21年度に新たに取り組む予定のもの＞

☆　駅南庁舎に市民総合相談センター（消費生活相談やくらし１１０番相談など）の開設

☆　新市域に係る各種工事の迅速化、適正化を図るため、南部地域に鳥取南地域工事事務所、西部地域に鳥取西地域工事事務所を新設

☆　第５次行財政改革大綱（構想基幹：平成２２年度～２７年度）及び実施計画（平成２２年度～２４年度）の策定を行う。

☆　次期総合計画（基本構想：平成２３年度～３２年度、基本計画：平成２３年度～２７年度）の策定に向けた準備を行う。

☆　「文化芸術振興条例（平成２１年４月１日施行）」に基づく文化芸術の振興を図る。

※このマニフェストは、平成１８年４月に策定したものを（社）鳥取青年会議所主催の「鳥取市長マニフェスト評価検証大会」（平成１９年８月開催）でいただいたご意見、鳥取市総合企画委員会（平成１９年１１月開催）、市議会などへの報告を行い、平成２０年１月に改定を行いました。